

当キャンペーンにより支援できる開発事業

バングラデシュ 632 万円

養蜂事業、女性の収入向上支援

バングラデシュは、栄養不足人口の割合が世界で最も高い国のひとつです。そこで、貧しい農村世帯で、特に貧しい女性や収入のない若者を対象に、養蜂事業を行い、ハチミツの生産および消費による栄養改善と余剰分販売による収入向上を目指します。また、収入のない女性へ職業訓練をはじめとする収入向上支援を行い、世帯が継続して食料を確保できる機会を提供します。



ウガンダ 600 万円

井戸の建設・植林

ワキソ県カブブ区のカブブ A、カブブ B、マニャングワ A、マニャングワ B の 4 カ村には水道や井戸がなく、住民が飲用に使用する泉は水質が汚染され、赤痢、腸チフス、寄生虫症などの原因になっています。これらの 4 カ村で井戸を建設する資金の一部に使われます。また、同県トゥンバリ・ルウェンウェデ区、カブブ区、ルグジ区の合計 18 カ村で、収入のない女性を対象とした果樹植林事業を行ない、改良品種のオレンジ、アボカド、マンゴーの苗木を提供し、植林技術の指導を行ない、環境保全と収入向上をめざします。



ベナン 600 万円

幼稚園運営・キャッサバ加工

2006 年に開園した幼稚園の運営を支えます。3～5 歳の子どもたち 90 名が、フランス語の会話・読み書きや衛生管理について学んでいます。農村部での幼児教はベナンではまだ画期的なこと。農村のニーズを考慮したカリキュラムを独自に創り、地域住民と共に運営をしています。また、これまでに 40 名の卒業生を出している識字教育事業を継続します。識字の能力を生かし、教室の仲間と小さなビジネスを始めた生徒もいます。卒業生の活躍を見て、教室登録者も増えました。識字の大切さが地域に浸透し始めています。



ブルキナファソ 600 万円

収入創出活動・衛生管理のための啓発

収入創出を目的とした住民組織の活動を支援します。HFW は主に生活必需品を販売する店舗の建設を支援します。同時に、せっけん作りを行っている住民組織を支援。固形の石鹸に加え、都市部で好まれる液体せっけんの製造技術の研修を行います。また、来年度予定されているトイレ建設に向けて、衛生管理の啓発を行います。各家庭にトイレがない地域では、公共のトイレを設置しても定期的な使用、管理を週間付けることが困難な場合がほとんどです。トイレ設置に先がけ、手洗い、トイレ使用などの啓発を行います。



* 国内の啓発事業に 20%(約 809 万円)、経費に 20%(約 809 万)を使わせていただきます。